



2021年5月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年6月29日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <https://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266
 定時株主総会開催予定日 2021年8月5日 配当支払開始予定日 2021年8月6日
 有価証券報告書提出予定日 2021年8月6日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の業績 (2020年5月16日～2021年5月15日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	17,794	△1.6	603	741.7	864	521.5	378	—
2020年5月期	18,076	△6.4	71	△92.4	139	△85.8	△93	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	27.66	27.66	5.6	8.1	3.4
2020年5月期	△6.83	—	△1.4	1.5	0.4

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 一百万円 2020年5月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	12,697	6,906	54.3	503.48
2020年5月期	8,751	6,521	74.5	476.05

(参考) 自己資本 2021年5月期 6,897百万円 2020年5月期 6,517百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	1,054	△126	2,838	8,604
2020年5月期	△463	△599	△61	4,838

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00	82	21.7	1.2
2022年5月期 (予想)	—	0.00	—	6.00	6.00		22.7	

3. 2022年5月期の業績予想（2021年5月16日～2022年5月15日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,708	△0.9	247	△30.7	256	△33.5	163	△19.3	11.95
通期	17,953	0.9	548	△9.1	566	△34.5	362	△4.4	26.45

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期	14,518,000株	2020年5月期	14,518,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期	818,986株	2020年5月期	819,210株
③ 期中平均株式数	2021年5月期	13,698,768株	2020年5月期	13,689,118株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済は、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症拡大の影響により日常生活が大きく制約を受ける中で、消費需要の低下、生産活動の停滞という厳しい状況が継続いたしました。個人消費におきましても、緊急事態宣言解除後に一時的に持ち直したものの、感染再拡大に伴って年明けから2度の緊急事態宣言の発出や「まん延防止等重点措置」等に基づく協力要請等、先行き不透明な状況が続きました。

外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限や外出自粛により、お客様の生活様式や外食に期待するサービス内容が激変しており、店内飲食が減少する一方で、人との接触機会の少ないテイクアウトやデリバリーサービスが増加する等、競争環境の変化が著しく、経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況において、当社は、お客様及び従業員の安心・安全を最優先にした「感染しない、させない営業」の徹底と、「お店との繋がり」が実感できる「ウィズ・コロナ時代の銚子丸劇場」への進化に邁進し、既存客の来店動機の抑制要因の軽減に努めました。

具体的には、QRコード決済（非接触型決済）の取扱ブランド拡充を積極的に推進することで、ご来店されるお客様との接触機会の少ない店舗運営体制の構築を進めました。また、「出前館」及び「ウーバーイーツ」によるデリバリーサービスの導入を推進し、当事業年度末において「出前館」（74店舗導入済）、「ウーバーイーツ」（85店舗導入済）ともにサービス提供可能エリア内の全店にて取扱いを可能としました。更に、2020年11月に「銚子丸アプリ」の配信を開始すると同時に「オンラインお持ち帰り予約」を全店に導入し、同アプリ上でデリバリー予約へのアクセスも可能とするなど、年末年始のテイクアウト・デリバリー需要の更なる拡大に対応できるように営業体制の充実を図りました。

店舗開発につきましては、「アフター・コロナ時代」を見据えた収益モデルの構築を積極的に推進するために、2020年8月に当社初の「テイクアウト専門店」初台店を新規に出店し、以降も同2号店千歳烏山店（2020年12月）、同3号店荻窪店（2021年3月）と、テイクアウト専門店3店を順次新規出店しました。一方で、「鯨Y a s u k e」大手町プレイス店についてはリモートワークの拡大に伴ってオフィスビル人口が激減し、コロナ禍を契機としたビジネススタイルの構造的変化に対して採算改善が困難と見込まれたため閉店（2020年10月）しました。また、経営効率化の観点から「すし銚子丸船橋店」（2021年2月）、「江戸前すし百萬石新小岩店」（2021年2月）、「すし銚子丸雅アトレ松戸店」（2021年2月）及び「すし銚子丸八千代店」（2021年4月）を閉店しました。この結果、当事業年度末の店舗数は91店舗となっております。

業績につきましては、第3四半期累計期間までは、ウィズ・コロナ、アフター・コロナ時代を見据えた施策が奏功し、予想を若干上回る実績で推移しました。しかしながら、2021年1月に当社の営業地域である1都3県において2度目の緊急事態宣言が発出され、同年3月末まで延長されました。これに続いて2021年4月には「まん延防止等重点措置」等に基づく協力要請等への対応を余儀なくされ、加えて「まん延防止等重点措置の対象区域」所在店舗でのアルコール提供禁止等の影響により、第4四半期会計期間の業績は予想を大幅に下回りました。

これらの結果、当事業年度の売上高は177億94百万円（前期比1.6%減）となりました。

利益面につきましては、第4四半期会計期間の業績は予想を大幅に下回ったものの、当事業年度を通じて全社的に広告宣伝費・販促費の抑制や店舗賃借料の削減努力等、支出の管理の徹底に努めたことが奏功し、営業利益は6億3百万円（同741.7%増）となりました。

なお、受取協力金（新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う各自治体からの協力金）2億13百万円を営業外収益として計上したこと等により、経常利益は8億64百万円（同521.5%増）となりました。また、採算が悪化した店舗に係る減損損失2億39百万円を計上したこと等により、当期純利益は3億78百万円（前事業年度は93百万円の当期純損失）となりました。

（注）1. 金額に消費税等は含まれておりません。

2. QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当事業年度末における資産は39億45百万円増加し、126億97百万円（前期比45.1%増）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動資産は41億95百万円増加し、101億円（同71.1%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加37億66百万円及び売掛金の増加5億40百万円であります。

固定資産は2億50百万円減少し、25億97百万円（同8.8%減）となりました。これは主に、建物（純額）の減少92百万円、工具、器具及び備品（純額）の減少71百万円及び敷金及び保証金の減少54百万円によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は35億60百万円増加し、57億91百万円(同159.6%増)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は34億80百万円増加し、53億28百万円(同188.4%増)となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金の増加30億円、未払金の増加4億38百万円によるものであります。

固定負債は80百万円増加し、4億63百万円(同21.0%増)となりました。これは主に、資産除去債務の増加94百万円によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は3億84百万円増加し、69億6百万円(同5.9%増)となりました。主な内訳は、繰越利益剰余金の増加3億78百万円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ37億65百万円増加し、86億4百万円(77.8%増)となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、10億54百万円(前事業年度は4億63百万円の支出)となりました。これは、税引前当期純利益6億11百万円、減価償却費2億79百万円、減損損失2億39百万円及び法人税等の還付額1億19百万円による資金の獲得及び、売上債権の増加5億40百万円による資金の使用等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億26百万円(前期比78.8%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億17百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、28億38百万円(前事業年度は61百万円の支出)となりました。これはコロナ感染拡大リスクに対応するための借入金30億円の資金の獲得等によるものであります。

(参考)

	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
自己資本比率(%)	66.6	68.6	66.8	74.5	54.3
時価ベースの自己資本比率(%)	133.0	163.6	159.4	178.0	116.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.1	0.4	0.1	—	2.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	587.8	404.0	908.9	—	248.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注4) 2020年5月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

現時点における翌事業年度(2022年5月期)の業績の見通しにつきましては、売上高179億53百万円(前期比0.9%増)、営業利益5億48百万円(前期比9.1%減)、経常利益5億66百万円(前期比34.5%減)、当期純利益3億62百万円(前期比4.4%減)を予想しております。

上記の数値につきましては、翌事業年度期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用し、当該基準等に基づいた予想となっております。2021年5月期を同様の基準で試算した場合、売上高の増減率は3.4%増の見通しとなります。営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、基準適用前後での影響はございません。

なお、上記の業績の見通しは、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進んできているものの、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、当社の経営成績に与える影響額を合理的に算出することは困難な状況で予想したものであります。従って、新型コロナウイルス感染症の業績に与える影響等を踏まえて、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を採用しております。I F R S (国際財務報告基準)適用に関しましては、今後の動向を注視しつつ検討していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月15日)	当事業年度 (2021年5月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,245,531	9,011,541
売掛金	227,536	767,629
原材料及び貯蔵品	136,155	134,370
前払費用	77,030	75,942
その他	217,968	110,730
流動資産合計	5,904,222	10,100,214
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	776,748	684,542
構築物(純額)	37,479	23,620
車両運搬具(純額)	2,282	1,882
工具、器具及び備品(純額)	404,849	333,490
土地	71,907	71,907
リース資産(純額)	26,750	13,227
建設仮勘定	1,782	—
有形固定資産合計	1,321,800	1,128,670
無形固定資産		
ソフトウェア	1,507	15,177
その他	9,899	7,688
無形固定資産合計	11,406	22,866
投資その他の資産		
出資金	140	140
長期前払費用	11,131	15,785
繰延税金資産	404,943	409,387
敷金及び保証金	883,067	828,175
その他	216,364	192,385
貸倒引当金	△1,078	—
投資その他の資産合計	1,514,568	1,445,873
固定資産合計	2,847,775	2,597,410
資産合計	8,751,997	12,697,625

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月15日)	当事業年度 (2021年5月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,779	574,112
短期借入金	144,000	—
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000,000
資産除去債務	—	3,160
リース債務	13,942	9,732
未払金	800,923	1,239,848
未払法人税等	45,088	249,790
預り金	70,480	98,201
前受金	10,653	—
前受収益	495	17,287
賞与引当金	106,785	100,810
株主優待引当金	33,589	33,435
店舗閉鎖損失引当金	2,000	2,000
流動負債合計	1,847,738	5,328,377
固定負債		
リース債務	18,480	4,693
長期未払金	153,000	153,000
資産除去債務	202,498	296,535
その他	9,000	9,000
固定負債合計	382,978	463,228
負債合計	2,230,717	5,791,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金		
資本準備金	236,829	236,829
その他資本剰余金	16,899	16,981
資本剰余金合計	253,729	253,811
利益剰余金		
利益準備金	150	150
その他利益剰余金		
別途積立金	150	150
繰越利益剰余金	6,645,454	7,024,419
利益剰余金合計	6,645,754	7,024,719
自己株式	△697,438	△697,275
株主資本合計	6,517,995	6,897,204
新株予約権	3,284	8,813
純資産合計	6,521,280	6,906,018
負債純資産合計	8,751,997	12,697,625

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年5月16日 至 2020年5月15日)	当事業年度 (自 2020年5月16日 至 2021年5月15日)
売上高	18,076,831	17,794,593
売上原価		
原材料期首たな卸高	226,245	123,040
原材料仕入高	7,291,856	7,215,707
合計	7,518,102	7,338,748
原材料期末たな卸高	123,040	121,667
売上原価合計	7,395,061	7,217,080
売上総利益	10,681,769	10,577,513
販売費及び一般管理費	10,610,112	9,974,410
営業利益	71,656	603,102
営業外収益		
受取利息	1,822	1,410
協賛金収入	25,950	16,134
仕入割引	3,393	2,482
受取保険金	20,138	1,525
雇用調整助成金	—	13,345
受取協力金	—	213,964
その他	17,878	18,015
営業外収益合計	69,184	266,878
営業外費用		
支払利息	1,220	4,092
現金過不足	385	—
支払手数料	—	811
その他	87	223
営業外費用合計	1,692	5,128
経常利益	139,148	864,852
特別利益		
固定資産売却益	90	9
新株予約権戻入益	—	66
特別利益合計	90	76
特別損失		
固定資産除却損	10,092	3,042
店舗閉鎖損失	—	10,819
減損損失	258,872	239,771
特別損失合計	268,964	253,633
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△129,726	611,295
法人税、住民税及び事業税	22,812	236,773
法人税等調整額	△59,058	△4,443
法人税等合計	△36,246	232,330
当期純利益又は当期純損失(△)	△93,479	378,964

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年5月16日 至 2020年5月15日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	315,950	236,829	6,171	243,001	150	150	6,820,949	6,821,249
当期変動額								
剰余金の配当							△82,015	△82,015
当期純利益又は当期純損失(△)							△93,479	△93,479
自己株式の取得								
自己株式の処分			10,727	10,727				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	10,727	10,727	—	—	△175,495	△175,495
当期末残高	315,950	236,829	16,899	253,729	150	150	6,645,454	6,645,754

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△722,553	6,657,648	—	—	449	6,658,098
当期変動額						
剰余金の配当		△82,015				△82,015
当期純利益又は当期純損失(△)		△93,479				△93,479
自己株式の取得		—				—
自己株式の処分	25,114	35,842				35,842
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—			2,835	2,835
当期変動額合計	25,114	△139,652	—	—	2,835	△136,817
当期末残高	△697,438	6,517,995	—	—	3,284	6,521,280

当事業年度(自 2020年5月16日 至 2021年5月15日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金	
					別途積立金			
当期首残高	315,950	236,829	16,899	253,729	150	150	6,645,454	6,645,754
当期変動額								
剰余金の配当								
当期純利益又は当期純損失(△)							378,964	378,964
自己株式の取得								
自己株式の処分			82	82				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	82	82	—	—	378,964	378,964
当期末残高	315,950	236,829	16,981	253,811	150	150	7,024,419	7,024,719

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△697,438	6,517,995	—	—	3,284	6,521,280
当期変動額						
剰余金の配当		—				—
当期純利益又は当期純損失(△)		378,964				378,964
自己株式の取得	△93	△93				△93
自己株式の処分	255	337				337
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—			5,529	5,529
当期変動額合計	162	379,209	—	—	5,529	384,738
当期末残高	△697,275	6,897,204	—	—	8,813	6,906,018

（4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2019年5月16日 至 2020年5月15日）	当事業年度 （自 2020年5月16日 至 2021年5月15日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	△129,726	611,295
減価償却費	303,463	279,900
店舗閉鎖損失	—	10,819
減損損失	258,872	239,771
株式報酬費用	38,075	14,579
新株予約権戻入益	—	△66
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	28,792	25,113
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	△1,078
賞与引当金の増減額（△は減少）	△5,785	△5,975
受取利息及び受取配当金	△1,822	△1,410
支払利息	1,220	4,092
有形固定資産売却損益（△は益）	△90	△9
固定資産除却損	10,092	3,042
売上債権の増減額（△は増加）	84,205	△540,092
たな卸資産の増減額（△は増加）	99,623	1,784
仕入債務の増減額（△は減少）	△609,624	△45,666
未払消費税等の増減額（△は減少）	67,562	60,219
その他	△232,927	299,648
小計	△88,069	955,967
利息及び配当金の受取額	407	188
利息の支払額	△1,221	△4,237
法人税等の還付額	—	119,364
法人税等の支払額	△374,149	△16,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	△463,032	1,054,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△407,472	△407,505
定期預金の払戻による収入	407,438	407,472
有形固定資産の取得による支出	△587,973	△117,896
有形固定資産の売却による収入	—	10
無形固定資産の取得による支出	△931	△17,129
貸付けによる支出	—	△7,900
貸付金の回収による収入	—	7,203
敷金及び保証金の差入による支出	△3,641	△3,448
敷金及び保証金の回収による収入	14,592	29,077
建設協力金の支払による支出	△17,000	—
資産除去債務の履行による支出	△4,834	△16,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	△599,821	△126,973
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	36,000	△144,000
長期借入れによる収入	—	3,000,000
リース債務の返済による支出	△15,367	△17,996
自己株式の処分による収入	—	314
自己株式の取得による支出	—	△93
配当金の支払額	△82,146	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,513	2,838,122
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,124,368	3,765,976
現金及び現金同等物の期首残高	5,962,427	4,838,059
現金及び現金同等物の期末残高	4,838,059	8,604,035

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の変更)

店舗の賃貸借契約等に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積額の変更を行っております。見積りの変更による増加額92,965千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2019年5月16日 至 2020年5月15日)

当社は、寿司事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年5月16日 至 2021年5月15日)

当社は、寿司事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2019年5月16日 至 2020年5月15日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	寿司事業	合計
外部顧客への売上高	18,076,831	18,076,831

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2020年5月16日 至 2021年5月15日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	寿司事業	合計
外部顧客への売上高	17,794,593	17,794,593

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2019年5月16日 至 2020年5月15日）

(単位：千円)

	寿司事業	合計
減損損失	258,872	258,872

当事業年度（自 2020年5月16日 至 2021年5月15日）

(単位：千円)

	寿司事業	合計
減損損失	239,771	239,771

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年5月16日 至 2020年5月15日)	当事業年度 (自 2020年5月16日 至 2021年5月15日)
1株当たり純資産額	476.05円	503.48円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△6.83円	27.66円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	27.66円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年5月16日 至 2020年5月15日)	当事業年度 (自 2020年5月16日 至 2021年5月15日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△93,479	378,964
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益又は 普通株式に係る当期純損失(△) (千円)	△93,479	378,964
期中平均株式数(千株)	13,689	13,698
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(千株)	7	3
(うち新株予約権(千株))	7	3
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	2020年第2回銚子丸新株予約権 (新株予約権の数1,193個、 普通株式59,650株)	2020年第2回銚子丸新株予約権 (新株予約権の数1,113個、 普通株式55,650株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。